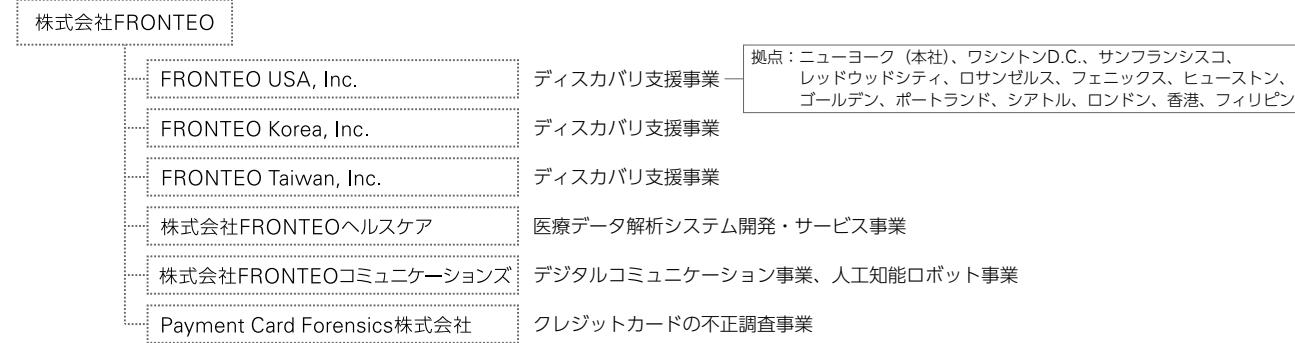




FRONTEOグループ



会社情報

商号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設立	2003年8月
資本金	2,481,621千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従業員数	485人

役員

代表取締役社長	守 本 正 宏
取締役副社長	池 上 成 朝
取締役	武 田 秀 樹
取締役*1	舟 橋 信
取締役*1	桐 澤 寛 興
常勤監査役*2	須 藤 邦 博
監査役*2	安 本 隆 晴
監査役*2	大 久 保 圭

*1社外取締役 *2社外監査役

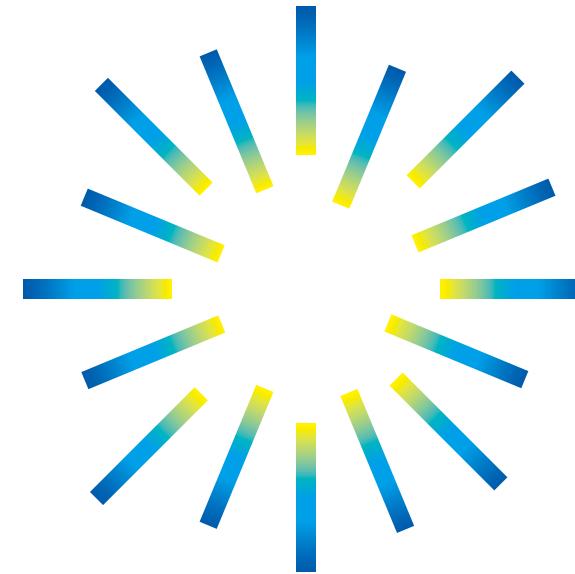
ホームページのご案内

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆さまからのご意見・ご質問もお受けしておりますのでメール等にてお気軽にお寄せください。
[FRONTEO通信]に関するご意見もお待ちしております。



FRONTEO 検索

<http://www.fronteo.com>



FRONTEO

FRONTEO通信

株式会社FRONTEO

2017年3月期 事業報告

2016年4月1日～2017年3月31日

特集

FRONTEOの事業領域・強み・事業紹介・成長戦略

トップメッセージ

業績ハイライト・来期業績見通し

ニュースフラッシュ

将来のAI技術を開発する行動情報科学研究所



トップメッセージ



FRONTEO

FRONTEO Mission (企業理念)

人と先端科学の未来に向かう、
輝ける価値創造者

理念ある発想が人の存在意義をより輝かせ、
先端技術とビジネスの創出を続け、
あらゆる分野での広汎なサービス化が
時代の先をつくる文化づくりを際立たせる

Corporate Brand (社名の意味)

FRONTEO

Front(英) 最先端 + eo(ラ) 前へ進む

Frontier Technology Organization の
アプリビエーション (略語)

「進歩的かつ先端的な価値創造集団」の意

The FRONTEO spirit, the social benefits

人の叡智えいちを活用するAI(人工知能)で社会に貢献します

2003年にUBICという社名でリーガル事業から出発したFRONTEOグループは、「企業の誇りと価値を守る」という信念のもと国際訴訟支援や不正調査に従事してまいりました。

2016年7月に社名をFRONTEOに改めた今、その取り組みはリーガル事業だけにとどまりません。

訴訟支援や不正調査という短い時間での高い精度が求められる厳しい環境で開発された人工知能KIBIT (キビット) を用いて、ヘルスケア、ビジネスインテリジェンス、デジタルコミュニケーション分野を中心にさらなる社会課題の解決に努めています。

2016年度においてはヘルスケア分野において公益財団法人がん研究会との共同研究の開始を発表、また、デジタルコミュニケーション分野においてはKIBIT搭載のコミュニケーションロボットKibiro (キビロ) の販売を開始いたしました。

KIBIT搭載ソフトウェアの導入も急速に進み、各業界におけるFRONTEOの人工知能の活用が進展しています。

FRONTEOグループはこれからも株主の皆さまとともに、人と社会が輝き続けられるよう、全力を尽くしてまいります。

代表取締役社長 守本 正宏

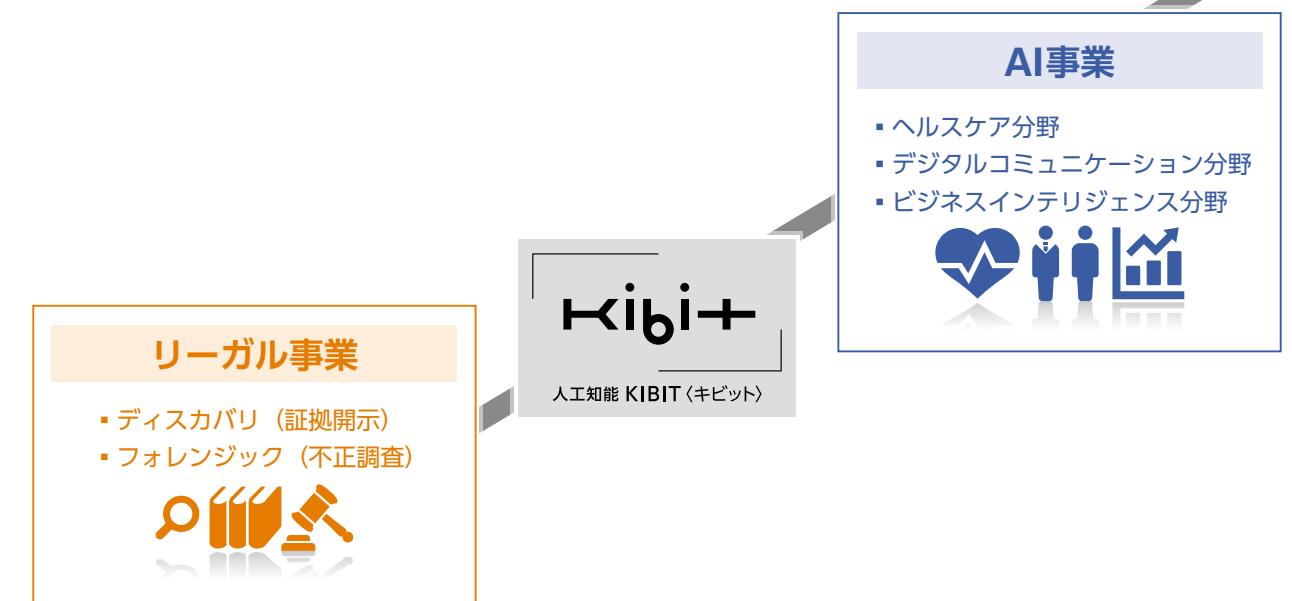
特集 **FRONTEOの事業領域・強み・事業紹介・成長戦略**

株主、投資家の皆さまへ、当社についてよりご理解いただくために、訴訟支援や不正調査という厳しい環境から生まれた人工知能KIBITとそのKIBITを生かした事業についてご説明させていただきます。

1. 事業領域と強み

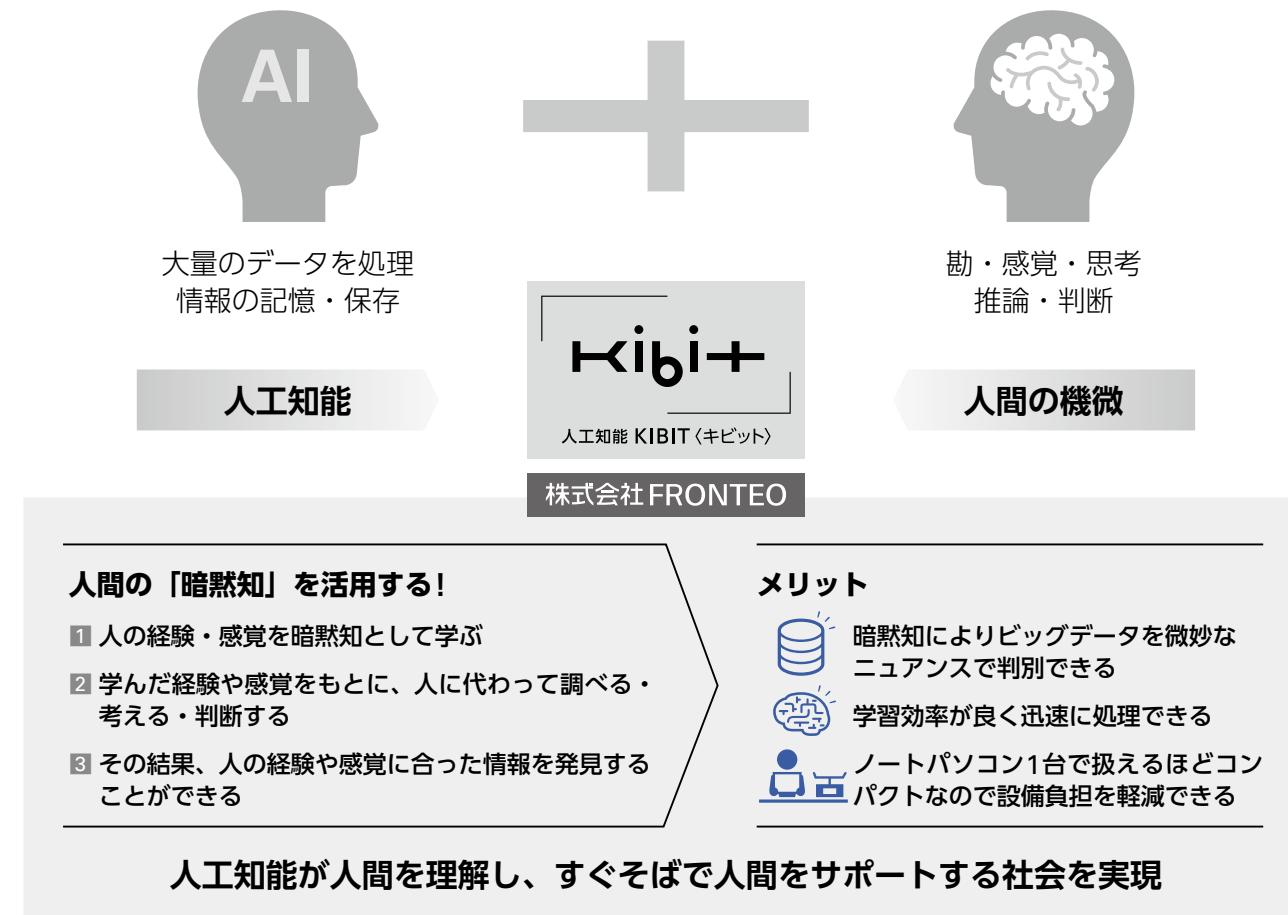
事業領域・収益基盤であるリーガル事業と拡大するAI事業を展開

訴訟支援と不正調査を通して発展させたデータの解析技術を駆使し、人工知能KIBITを開発。人間の判断を汎用的にサポートすべく、KIBITを活用して2014年よりAI事業 3分野での展開を開始しています。



強み・軽量かつ迅速で学習効率の良い人工知能エンジン

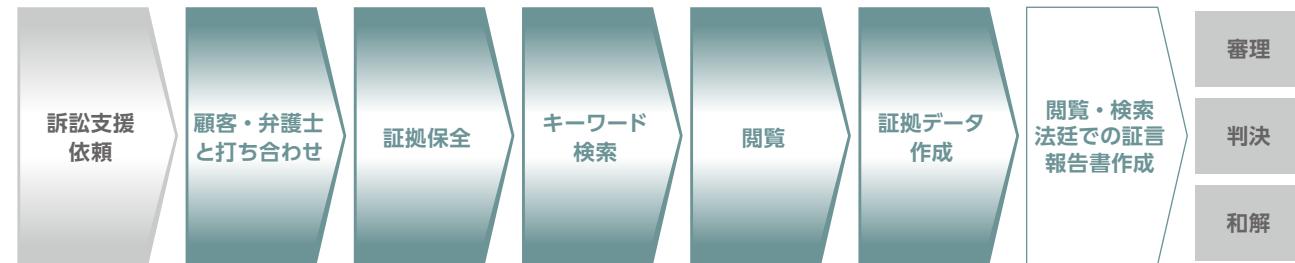
情報の取捨選択にとどまらず、人間の機微まで学習する人工知能エンジン



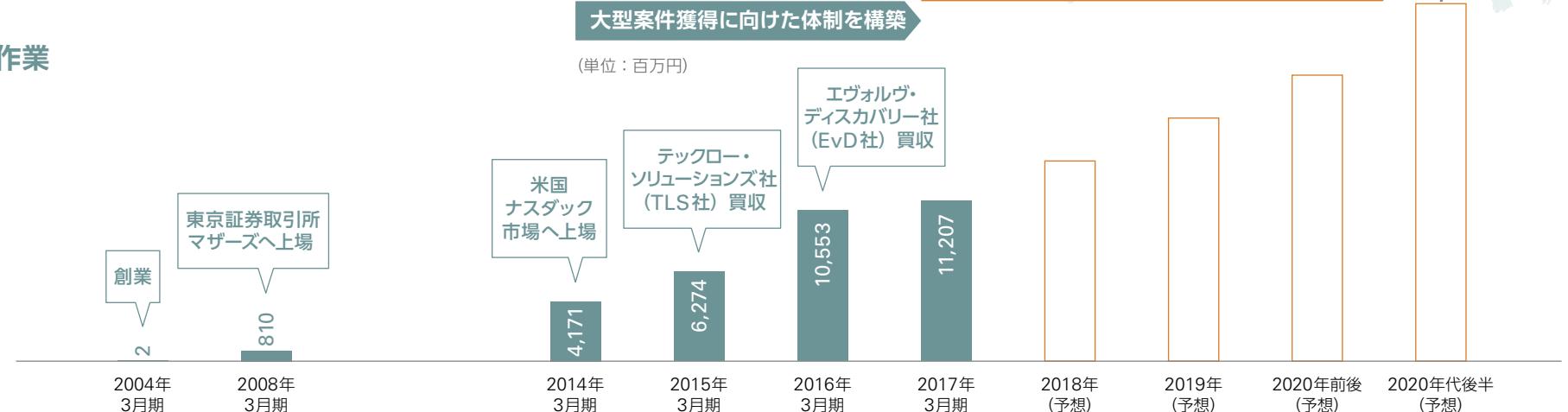
2. 収益基盤であるリーガル事業の紹介

アジアで唯一のディスカバリベンダとして、アジア企業を支援

ディスカバリ（証拠開示）は、被告・原告の双方が証拠を開示する米国訴訟独特の制度です。FRONTEOは、アジアにおけるディスカバリ総合支援企業のパイオニアとして、日本のリーディングカンパニーの案件を数多く手がけ、その実績は米国子会社を含めると6,000件を超えています（2017年3月時点）。また、案件において培った数多くの法律事務所とのネットワークを世界中に張り巡らし、訴訟におけるもう一つの鍵である海外の弁護士との連携にも万全の態勢で対応しています。

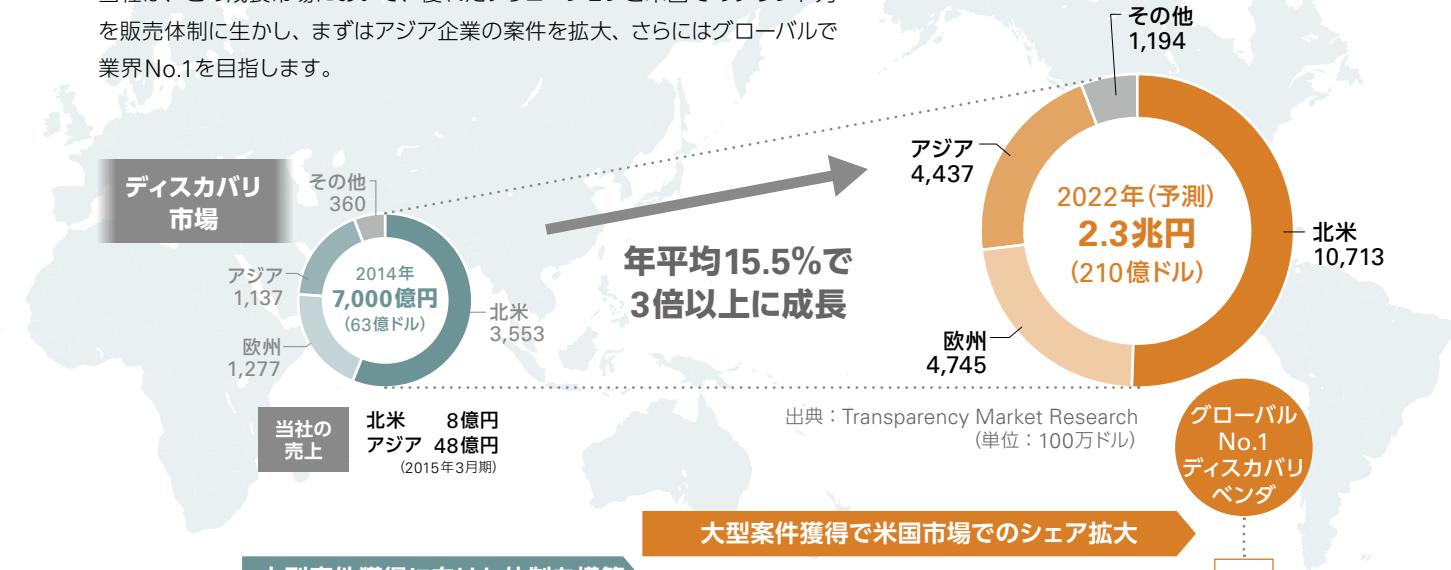


訴訟費用の70%を占めるといわれるディスカバリ作業



10年後グローバルNo.1を目指します

リーガル事業の中心となるディスカバリ市場は年平均成長率15.5%の市場であり、2022年には2.3兆円（210億ドル）を超える規模になるといわれています。当社は、この成長市場において、優れたソリューションと米国でのブランド力を販売体制に生かし、まずはアジア企業の案件を拡大、さらにはグローバルで業界No.1を目指します。



特集 FRONTEOの事業領域・強み・事業紹介・成長戦略

3. KIBITを活用した新たな事業展開：ヘルスケア

ヘルスケアの領域では、高齢化社会を迎え患者数が増加傾向を強める一方で、医療・介護従事者の人手不足が叫ばれています。

医療、介護現場の継続的な業務の効率化が不可欠であり、AIの潜在市場は非常に大きいと予測されます。また、スピードや解析の質、機密性の面で厳しいリーガル事業で発展してきたKIBITは、医療現場の情報管理や解析ニーズとの親和性が高く、ヘルスケア分野に大きく寄与することが見込まれます。

FRONTEOヘルスケアが取り組んでいる領域

(当社試算)



様々な取り組みの進捗状況についてはP9をご覧ください

愛知医科大学・日本臓器製薬との慢性痛に関する共同研究 疼痛診療支援AIシステム

集学的診療のノウハウを学習したKIBITが複雑な慢性痛の診療を支援



慢性痛の治療に重要とされる、医師・看護師・理学療法士・臨床心理士など様々なエキスパートの知識をKIBITに学ばせ、効率的かつ的確な診療支援を可能にする取り組みがスタートしました。

研究は2018年前半を目処に完了し、その後、診断支援機器としての製品化へ向けた開発に進む予定です。



公益財団法人がん研究会「がんプレジジョン医療」共同研究開発 がん個別化医療AIシステム (CPM-AIシステム)

最適な治療方針決定のため、論文から必要情報を抽出する技術を提供



患者さまに合わせて緻密に最適化された医療提供を目指す「がんプレジジョン医療」システムにおいて、増え続ける医療情報や論文データの中から最適な治療方針を探し出す場でKIBITの活躍が期待されています。

現在、公益財団法人がん研究会と「がん個別化医療AIシステム (CPM-AIシステム)」3システムの開発に着手しました。



FRONTEOヘルスケアサイトがリニューアル

<https://www.fronteo-healthcare.com/>



スマートフォンの方はコチラ

5月11日、株式会社FRONTEOヘルスケアのHPがリニューアル。カテゴリを細分化、医療機関さま、製薬会社さま、ビューティケア企業の皆さまなど様々な方が、求めている情報にいち早く辿り着けるようにデザイン。併せて、コンテンツの一層の充実化も図りました。ぜひ一度、お訪ねください。



特集 **FRONTEOの事業領域・強み・事業紹介・成長戦略**

4. 成長戦略

当社は4つの分野で日本のAIビジネスのパイオニアとして成長を図ります。

既存の顧客企業さま (一例)



充実したヘルスケア分野のパイプライン

		FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021
短期収益型	薬剤監視支援	[Progress bar]				
	社員離職防止システム	[Progress bar]				
	論文分析支援	[Progress bar]				
	MR効率化支援	[Progress bar]				
中期収益型	転倒転落予測システム	[Progress bar]				
	容態変化予測システム	[Progress bar]				
長期収益型	精神疾患客観評価デバイス	[Progress bar]				
	疼痛診療支援AIシステム	[Progress bar]				
	がん個別化医療AIシステム	[Progress bar]				

■ 実証実験・開発 ■ 臨床試験・治験 ■ 販売

現在

将来

「人工知能が人間を理解し、すぐそばで人間をサポートしてくれる」社会の早期実現

4つの分野で事業を拡大。
リーガル事業のさらなるグローバル化と、
AI事業の飛躍的成長を図ります

Kibi+
人工知能 KIBIT (キビット)

人工知能を生かす
4つの分野



B to C領域
B to B領域
B to B領域

業績ハイライト・来期業績見通し

2017年3月期業績

連結売上高3期連続の増収。AI事業は前期比2.4倍の売上高を達成

リーガル事業においては、2016年7月に米国子会社3社を統合し、内部体制の強化に向けた組織改革を実施いたしました。2016年度後半からは、米国子会社と本社の協働によりアジアの大型案件を獲得した結果、3期連続の増収を達成いたしました。AI事業では、KIBITを活用したソフトウェアの導入社数が前期比2.25倍の45社になるなど順調に事業を拡大しております。なお、利益に関しては、プロダクト・ミックスの変化及び監査費用の増加などの理由から減益となりました。

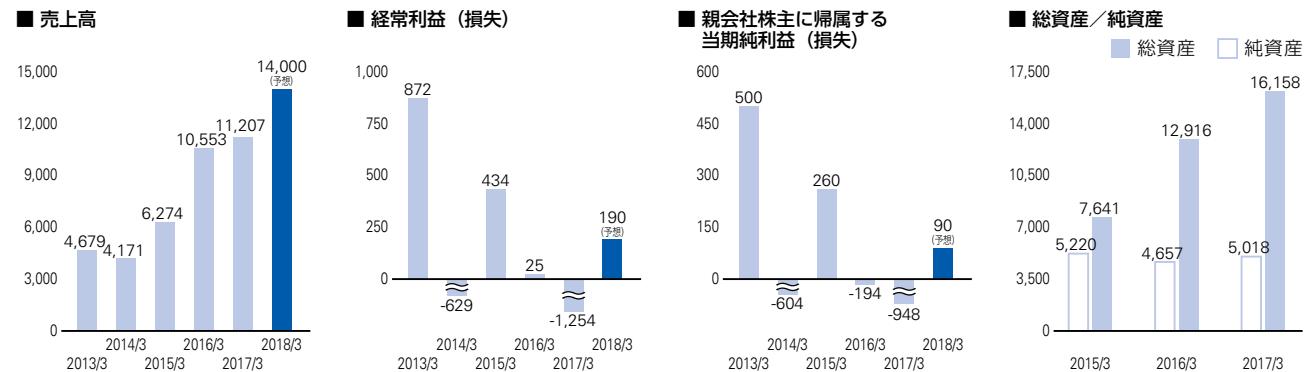
2018年3月期業績見通し



リーガル事業での大型アジア案件獲得、AI事業での事業拡大により24%増収、最終黒字化を目指します

リーガル事業は、グローバル・クロスボーダー営業を加速させることでさらなる大型アジア案件の獲得を図ります。また、AI事業では引き合いの多い金融機関へ、Regtech (Regulation technology) ソリューションの積極的なアプローチを行うとともに、大きな可能性を秘めるヘルスケア事業への注力を行い、通期業績予想の達成に向け邁進いたします。

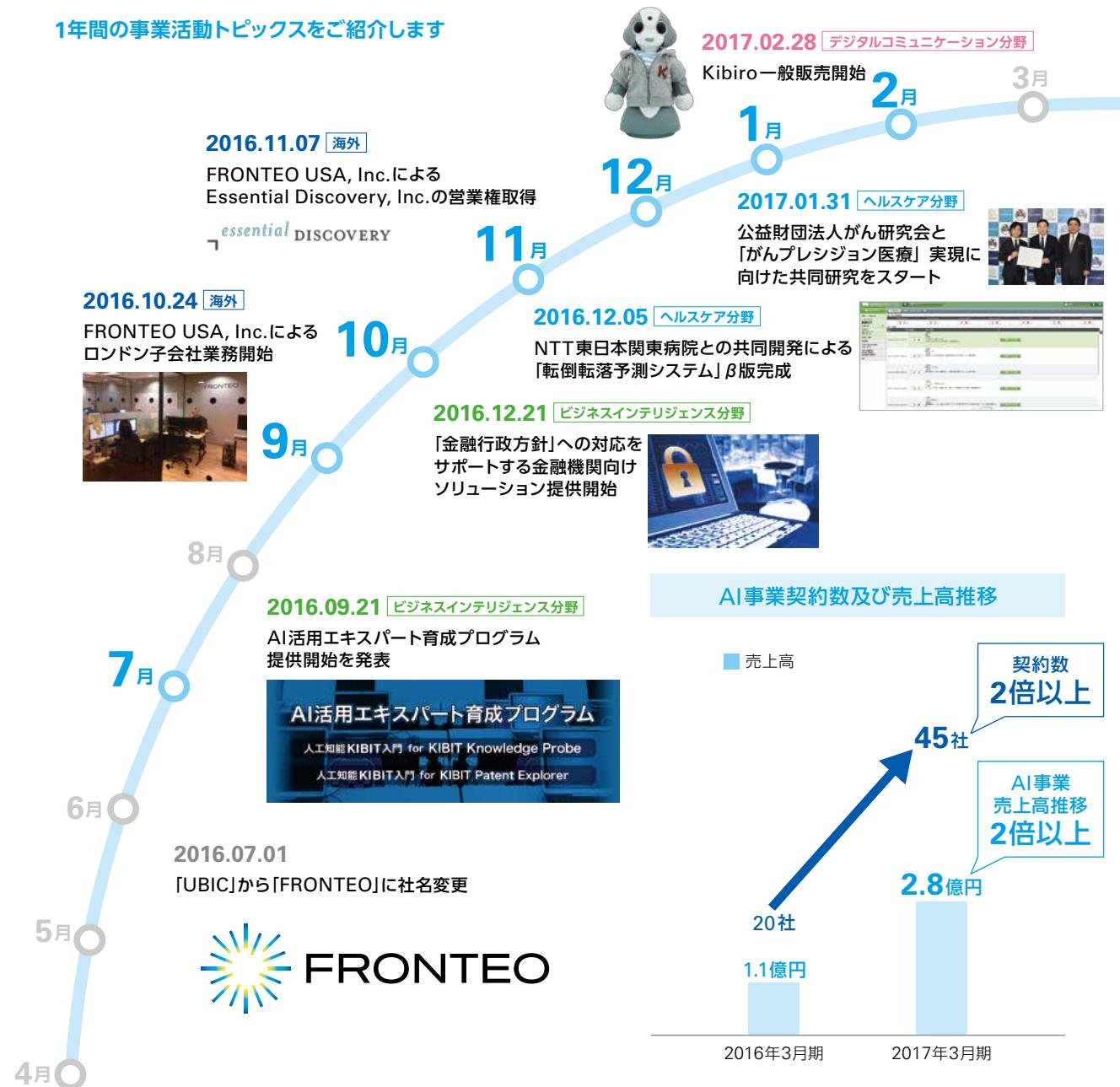
連結業績ハイライト



IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報をご覧いただけます
<http://www.fronteo.com/ir/> フロンテオ IR 検索

ニュースフラッシュ

1年間の事業活動トピックスをご紹介します



FRONTEOラウンジ

最新TOPICSや株主・投資家の皆さまからのご質問への回答、注力している取り組みなどをご紹介します。
今回は当社の技術を支える革新的な研究所についてです。



将来のAI技術を開発する 行動情報科学研究所

行動情報科学研究所は、人工知能（AI）が人間の判断をサポートする「人間×AI融合社会」を実現するために、次世代のAI関連技術の研究、KIBITを搭載したアプリケーションの開発、各アプリケーションを提供するインフラの維持・運用サポートなど、FRONTEOの製品・サービスを技術面で支えています。



- 2014年10月、人工知能関連技術の研究などを目的に当社のサービスを技術で支える組織として設立
- 素粒子物理学、言語学、情報処理、社会学、統計学など様々な分野の人材で構成

Kibiroが解説 「行動情報科学」とは



Kibiro

情報科学・行動科学を組み合わせた当社独自のコンセプト

情報科学

統計学・数学・データマイニングなど

行動科学

心理学・犯罪学・社会学など

行動情報科学は、特定の状況（不正に手を染める現場など）における人間の思考・行動を行動科学に基づいてモデル化し、コンピュータを用いた情報科学のアプローチで未来の思考・行動を予測しようとするコンセプトです。多数の事例を通して蓄積したノウハウによって可能となる行動情報科学が、人工知能エンジンKIBITの高い分析精度を支えています。

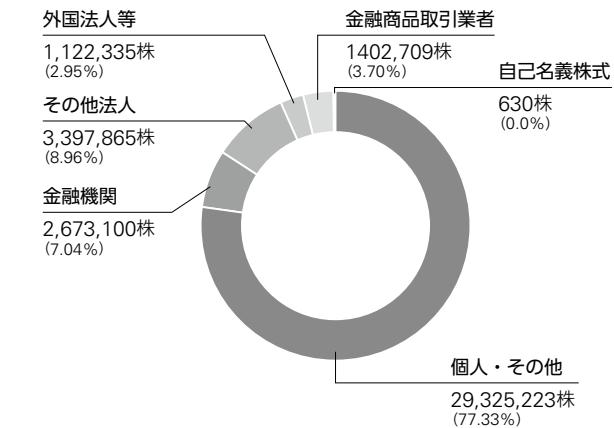
株式の情報

(2017年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	37,921,862株
株主数	20,030名

所有者別株式分布状況



株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ（2007年6月27日上場） 米国ナスダック（2013年5月16日上場）
銘柄、証券コード	株式会社FRONTEO、2158
株式の売買単位	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
守本 正宏	6,920,400	18.24
株式会社フォーカスシステムズ 代表取締役社長 森 啓一	2,984,720	7.87
池上 成朝	2,730,800	7.20
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口） 取締役社長 桑名 康夫	964,900	2.54
第一生命保険株式会社 代表取締役社長 渡邊 光一郎	545,900	1.43
林 純一	497,300	1.31
神林 忠弘	429,800	1.13
志野 文哉	406,500	1.07
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社（信託口9） 取締役社長 桑名 康夫	345,000	0.90
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口） 取締役社長 和地 薫	338,800	0.89

小数点以下第3位切り捨て

株式諸手続きのご案内

①住所、氏名、配当金受け取り方法の変更など、各種手続きに関するお問い合わせ
お取引の証券会社までお問合せください。

②特別口座で株式を管理されている株主様のお手続きに関するお問い合わせ
弊社株式の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00
0120-232-711（東京） 0120-094-777（大阪）